



2020・11

# 地域医療を守り、湖西病院をよくするための アンケート結果

静岡自治労連  
西部地域の医療を守る会



## はじめに

---

静岡自治労連は、国の「地域医療構想」を見直し、市立湖西病院による地域医療を守るため、昨年11月3日に「西部地域の医療を守る会」と共同で住民アンケート調査を実施しました。

アンケート結果を冊子にするにあたり、津市立三重短期大学の長友薫輝教授に分析していただき、アンケート結果をより深く読みとっていただき大変貴重な冊子とすることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

私たちは、このアンケート結果を湖西地域の皆様や県内の方々に知らせ、「地域医療構想」による再編統合の抜本の見直しを求めていきたいと思えます。

静岡自治労連  
執行委員長 菊池 仁

---



---

市立湖西病院は 2019 年 9 月に、「再編統合を進めるべき」と厚労省から指定されました。

全国では、424 の公立・公的病院が同様に再編統合するよう指定されましたが、その後の新型コロナ対応において、むしろ公立・公的病院の存在を中心に、民間医療機関を含めて、地域医療の体制は充実させるべきとの声が高まっています。

そこで、重要となるのは湖西市民のみなさんの思いです。地域の医療体制について、特に、「再編統合を進めるべき」との方針が出されている市立湖西病院について、市民の方々がどのように思っておられるのでしょうか。

市民の声をとりまとめた今回のアンケート調査結果から、判明したことを記します。

津市立三重短期大学教授  
長 友 薫 輝

---



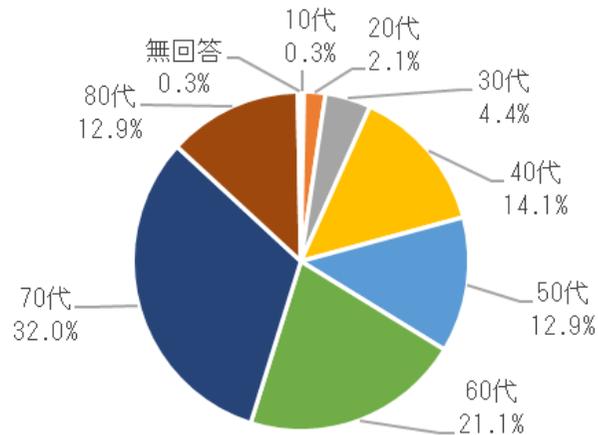
**2020・11**  
**地域医療を守り、湖西病院をよくするための**  
**アンケート結果**

**津市立三重短期大学教授**

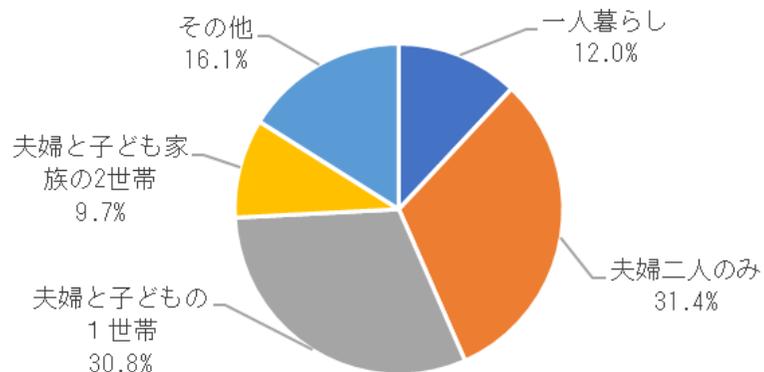
**長友 薫輝**

# コロナ禍でも 3 割の市民が回答、湖西病院・地域医療へ高い関心

## 2. 年齢



## 3. 家族構成



## 1. アンケート調査に回答した方々

### (1) 5つの中学校区すべてから回答を得ている

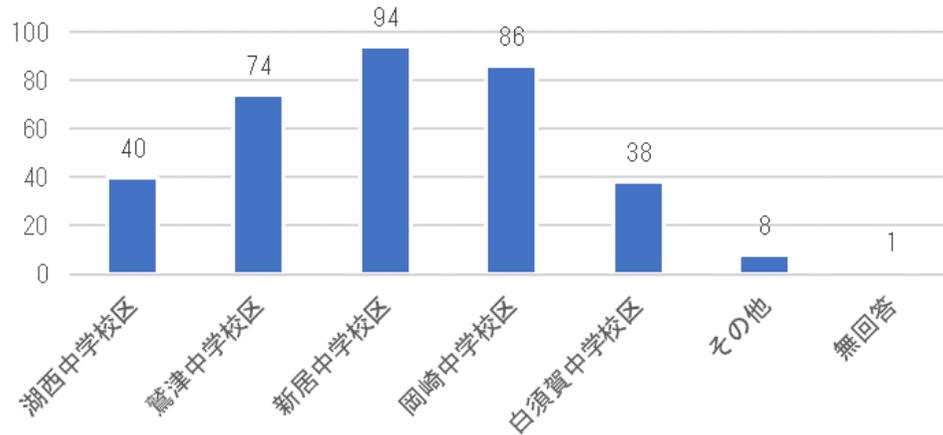
2020年11月3日、市内5つの中学校区（湖西、鷺津、新居、岡崎、白須賀）においてアンケートを配布しました。市内のすべての地域から市民の声を集めるために、工夫して配布されたと聞き及んでいます。

その結果、今回のアンケートに回答された方は341人（回収率31.0%）でした。5つの中学校区すべてから回答を得ており、湖西40人、鷺津74人、新居94人、岡崎86人、白須賀38人、その他8人となっています。

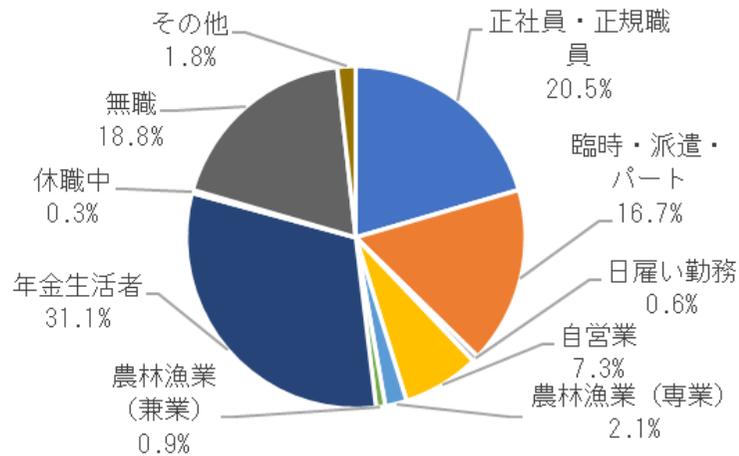
本調査はコロナ禍の2020年11月に実施されたものです。調査を実施する環境としてご苦労も多かったことでしょう。また、何より調査に回答された方々には不安やとまどいなどもあったことと推察します。

にもかかわらず、多くの市民から回答が寄せられたことは、市立湖西病院への信頼と期待、そして、地域の医療体制への関心の高さの表れだと思えます。

#### 4. 居住地



#### 5. あなたの仕事



#### (2) 回答者の特徴

回答者の年齢別では、70代以上の方が44.9%となっています。60代の回答者(21.1%)を含めると全体の66.0%となります。地域医療や病院に関する調査はおよそ、ご高齢の方の回答が多くなります。また、年金生活者の方が31.1%と最も多くなっています。

一方で、雇用労働者(正規雇用・非正規雇用)が37.8%、自営業の方が7.3%、農林漁業(専業)の方が2.1%と、働いておられる方々が47.2%と多いのも今回の回答者のみなさんの特徴です。

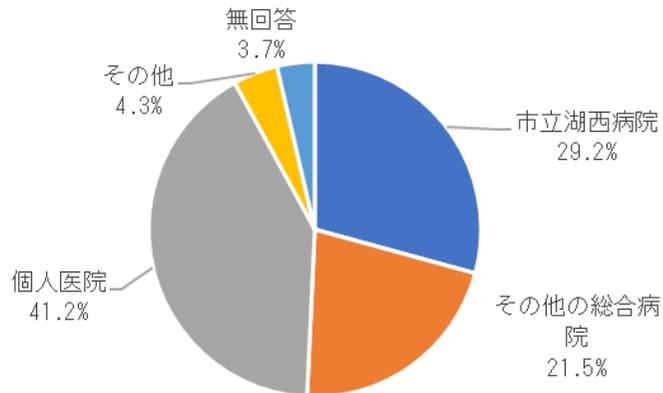
家族構成別では、「夫婦二人のみ」31.4%、「夫婦と子ども1世帯」30.8%、「その他」16.1%、「一人暮らし」12.0%、「夫婦と子どもの2世帯」9.7%、となっています。

# 受診控え 27.6%、不足している診療科「産婦人科」61.0%

## 6. あなたは過去1年間に病院や医院を受診したことがありますか



## 7. 問6で、「①受診した」と答えた方、どこの病院・医院で何回受診しましたか [4つまで]



## 2. 医療機関への受診状況から

### (1) 直近1年間の医療機関への受診状況

「この1年間に医療機関を受診したことがありますか？」という設問に対しては、「受診した」93.8%、「受診していない」5.6%、という結果でした。

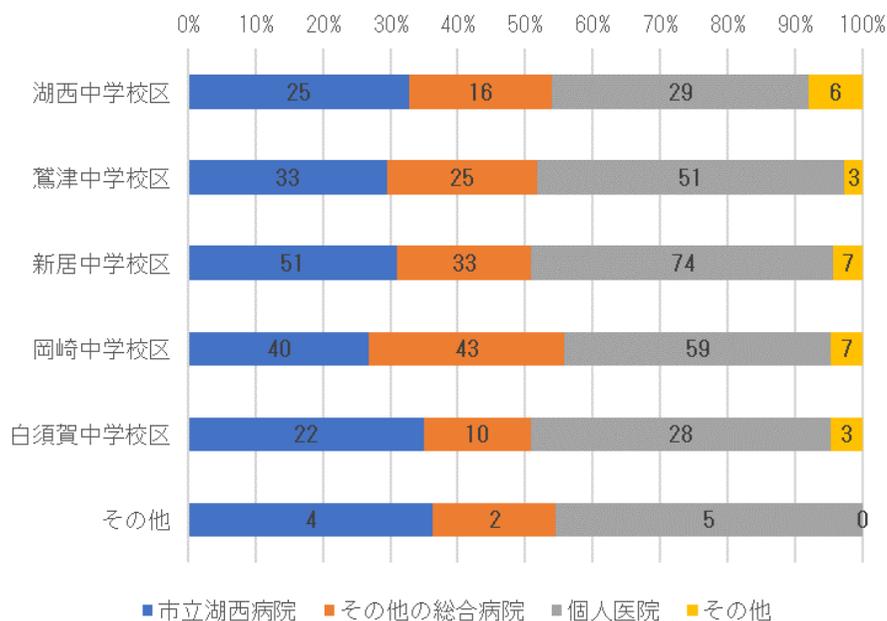
実際に、医療機関を受診している方々に、アンケート調査にご協力頂いていることがわかります。

### (2) 受診抑制など

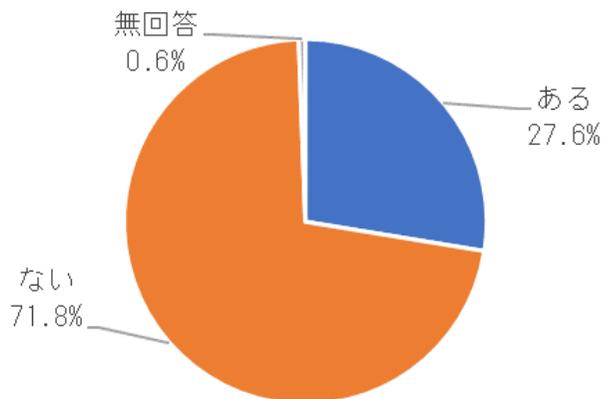
「この1年間にあなたは、病気やケガにかかっても受診を控えることがありましたか」という設問に対しては、「ある」27.6% (94) という結果でした。

この「受診を控えることがあった」と回答した27.6% (94) の方々にその理由をお伺いしたところ、「たいした病気・ケガではなかった」(63)、「新型コロナの感染が怖かったため」(53)、「医療費が高くて我慢した」(10)「病院に行くヒマがなかった」(10) などとなっています。

7. 問6で、「①受診した」と答えた方、どこの病院・医院で何回受診しましたか [4つまで]



8. この1年間にあなたは、病気やケガにかかって  
も受診を控えることができましたか



「たいした病気やケガではない」と回答した方々は、自覚症状がありながらも比較的軽度だと自ら判断されたこととなります。ただし、何らかの自覚症状等があったわけですから、やはり、医師の診察等を受けることが重要だと考えられます。

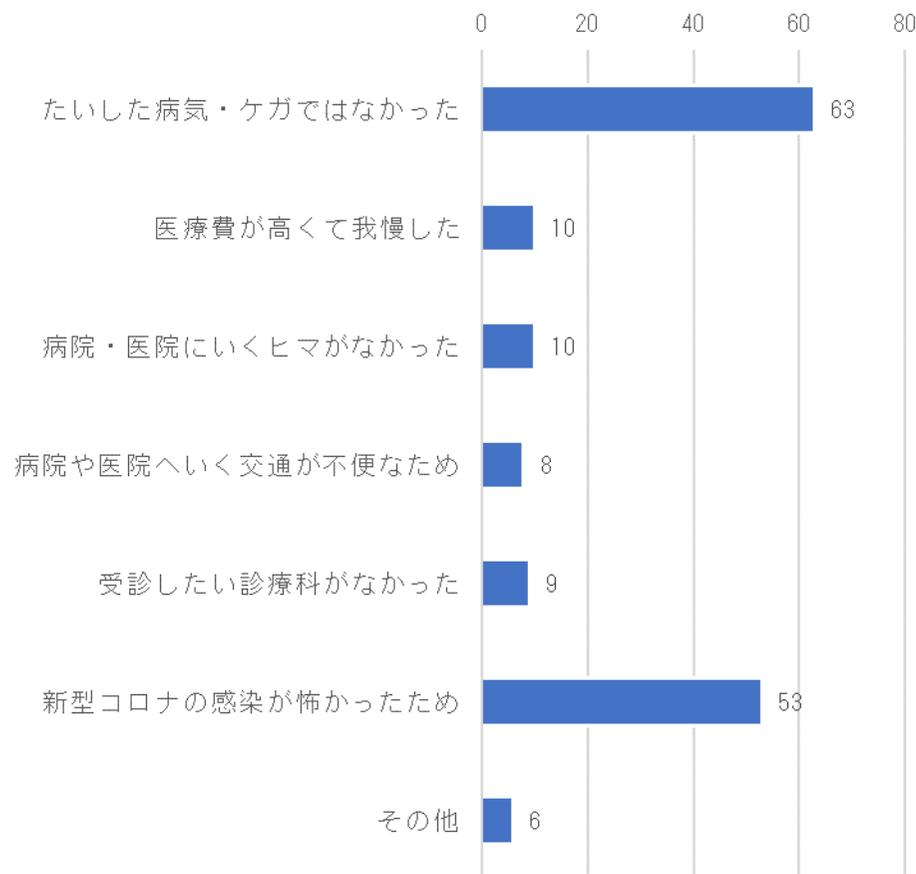
また、次いで、新型コロナウイルス感染を怖れて受診しなかった方々が多くなっています。コロナ禍はしばらく続くことが想定されています。体調がより悪化しないうちに、早期に受診をご検討頂きたいところです。

「医療費が高くて我慢した」という方もおられます。医療費の支払いができるかどうか心配で、受診を抑制せざるを得ないという実態は各地で見られています。コロナ禍でいっそう深刻化することのないよう、地域で実態を把握する取り組みが求められています。

また、「病院に行くヒマがなかった」という回答も複数寄せられています。お仕事をされている方や介護等をされている方などの中には、実際になかなか病院を受診することができないという実態も広がっています。

このように、仕事や生活などそれぞれに背景があって、市民が受診できないという実態は、潜在化する傾向にあります。なかなか隣近所や他人に、困っていることは言いづらいものです。その結果、本当に困っていることは地域で潜在化してしまいます。

### 9. 問8で、「①ある」答えた方にお聞きします。その理由は何ですか [7つまで]



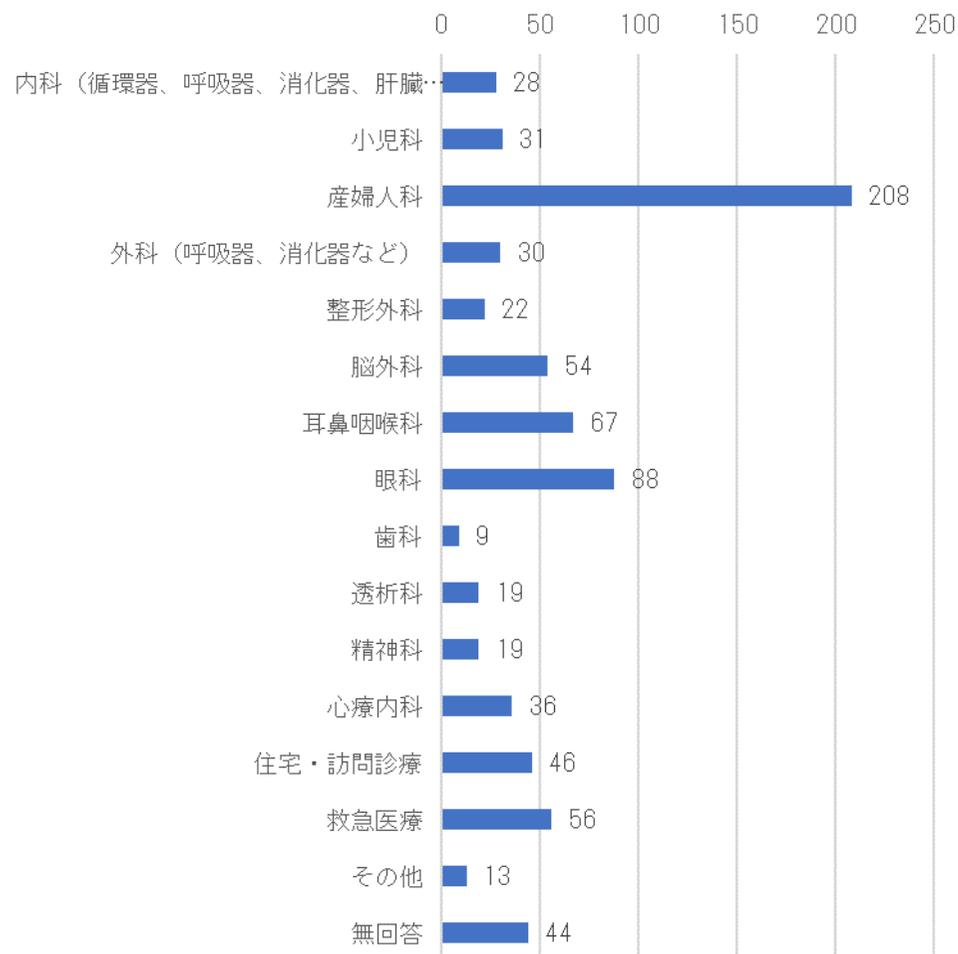
今回のアンケート調査によって、こうした事実が明らかとなりました。なかなか受診したくても受診できずにいると、重症化という事態を招いてしまいます。

医療へのハードルを下げておくことで重症化を防ぐことにもつながることから、医療費の心配をしなくても済むように、そして交通面なども含めて医療へアクセスしやすくすることが重要だと考えられます。同時に、私たち地域住民が医療機関を受診する際の行動については、普段からよく話し合っておくことが大事となります。行政や社協から出される広報等を使用した、医療に関する情報提供も重要です。

さらには日常的に、医療機関と地域住民が話し合う場の設定が必要となります。様々な場をつくり、地域で医療に関する話題を増やしていくことで、理解が広がり、結果として、医療従事者の負担をも回避することにつながります。

もちろんコロナ禍での場の設定には工夫が必要となりますが、こうした工夫をするところから、共同でできるとよいのではないのでしょうか。

## 10. あなたの住んでいる地域で、不足していると感じる診療科はありますか？ [5つまで]



### (3) 不足していると感じる診療科について

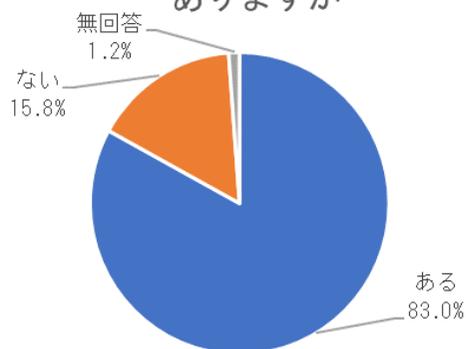
「不足していると感じる診療科はありますか？」という設問については、「産婦人科」が最も多く61.0% (208) となっています。次いで「眼科」25.8% (88)、「耳鼻咽喉科」19.6% (67)、「救急医療」16.4% (56)、「脳外科」15.8% (54) などとなっています。

すでに多くの方に知られているように、各地で産婦人科の休診や、出産ができる病院の集約などが起きています。その結果、市内でお産ができなくなる自治体が全国的に増えています。

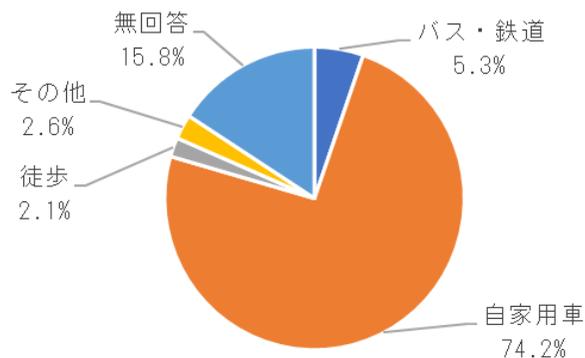
そのようなことをふまえて、本アンケートでも「産婦人科」が不足しているという声が大きくなっているものと考えられます。自由記入欄にも、お産ができる地域としての存続、市立湖西病院への期待が寄せられています。

# 湖西病院「受診したことある」83.0% 「近いから」48.4%、「公立病院だから信頼できる」33.1%

11. あなたは市立湖西病院で受診したことがありますか・



12. 交通手段はどれでしたか



## 3. 市立湖西病院の受診状況から

### (1) 受診状況

市立湖西病院の受診状況に関する設問についてです。

「あなたは市立湖西病院で受診したことがありますか？」という設問について、「ある」と回答した方が83.0%（283）となっています。

市立湖西病院を受診した理由（複数回答）としては、「自宅・職場から近い」48.4%（165）、「公立病院だから信頼できる」33.1%（113）、「他の医療機関から紹介された」11.4%（39）、「設備が充実している」11.1%（38）、「交通の便がよい」10.9%（37）、といった順で回答が多くなっています。

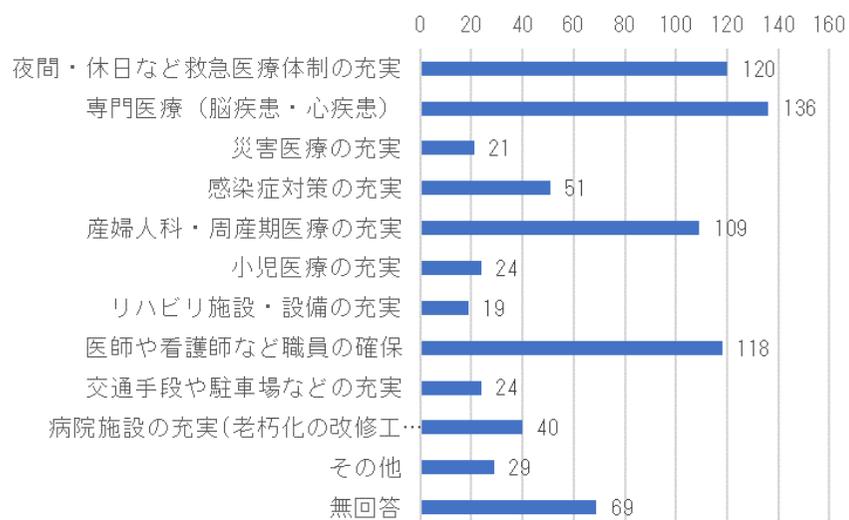
自宅や職場からのアクセスがしやすく、公立病院であることが評価されているとともに、「医師・看護師などの対応がよい」10.3%と「医師や技師の評判がよい」8.1%との回答もあり、病院で働く医療従事者等への信頼を窺い知ることができます。

アクセス面においては、74.2%の方が自家用車、5.3%の方がバス・鉄道となっています。自宅から病院まで要する時間では、「10分～20分」が54.3%、「10分未満」が19.9%と、8割を超える方々が病院から20分以内の圏域に居住していることがわかります。

#### 14. 市立湖西病院で受診した理由を教えてください [9つまで]



#### 15. 市立湖西病院に力をいれて欲しいものがありますか [11つまで]



ただし、自動車利用者が多く、自動車を利用できない場合の医療アクセスの課題があるように思われます。

#### (2) 市立湖西病院に力をいれて欲しいこと（複数回答）

この設問について、回答が多かった順に並べると、以下の通りとなります。

「専門医療（脳疾患・心疾患・がん）の充実」39.9%(136)

「夜間・休日など救急医療体制の充実」35.2%(120)

「医師や看護師など職員の確保」34.6%(118)

「産婦人科・周産期医療の充実」32.0%(109)

「感染症対策の充実」15.0%(51)

「病院施設の充実（老朽化の改修工事など）」11.7%(40)

などとなっています。

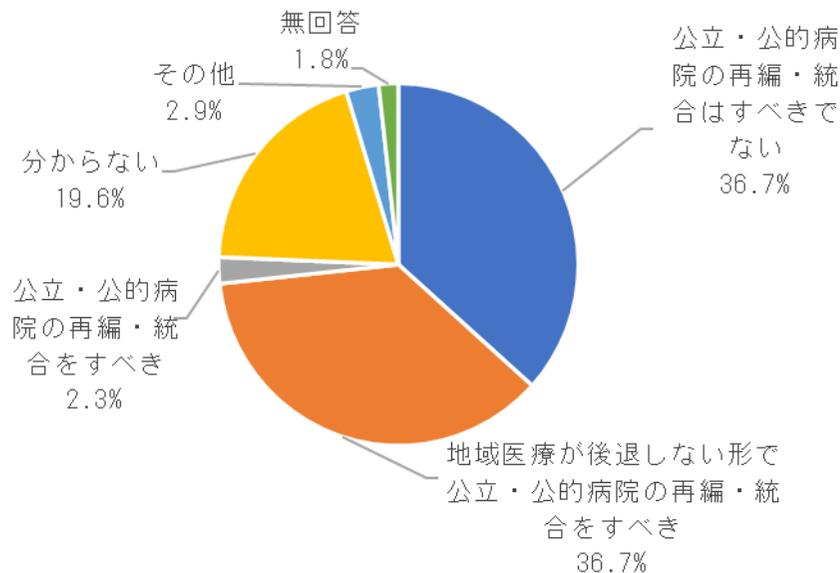
脳疾患・心疾患・がんの専門医療体制や救急医療体制の充実を求める声が多くなっているとともに、医師や看護師など職員の確保も高い割合となっていることがわかります。

また、先述の「地域で不足していると感じる診療科」に関する設問で最も高かった産婦人科等を求める声も高い割合です。次いで、感染症対策の充実や病院施設の充実を求める声が続いています。

なお、市立湖西病院を受診したことのない方に、受診したことがない理由をお伺いした設問では、「かかりつけ医がいるから」7.3%(25)が最も多くなっていますが、そのほかに特筆すべき点は見当たりません。

# 「再編統合すべきでない」「地域医療が後退しない形で」73.4%

17. 市立湖西病院の再編・統合について、あなたの考えに最も近いものは何ですか？



## 4. 市立湖西病院のこれからについて

### (1) 市立湖西病院の再編・統合

市立湖西病院の再編・統合に関して、あなたの考えに最も近いものを選んでくださいという設問では、以下の通りとなります。

「公立・公的病院の再編・統合はすべきではない」36.7% (125)

「地域医療が後退しない形で公立・公的病院の再編・統合をすべき」36.7% (125)

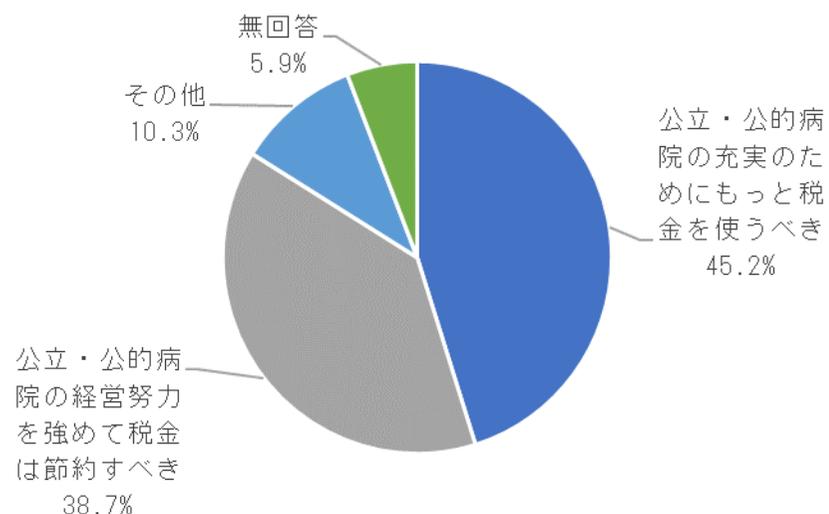
「公立・公的病院の再編・統合をすべき」2.3% (8)

「分からない」19.6% (67)

「公立・公的病院の再編・統合はすべきではない」との回答と、「地域医療が後退しない形で公立・公的病院の再編・統合をすべき」との回答が同数で、両者を合わせれば、地域医療の提供体制の維持を願う声は73.4%と非常に高くなっています。

この結果は、地域のみなさんの切実な声として、受け止める必要があると思います。地域でどのような医療提供体制が必要となるのか、その中で市立湖西病院がどのような役割を果たしていくべきか、注目されるところです。

18. 公立・公的病院は市民の税金によって誰もが安心して受診できるようになっています。この税金の使い方について、あなたの考え方で最も近いものは何ですか？



## (2) 2019年9月の再編・統合リストの公表から

2019年9月に、静岡県内では市立湖西病院を含む14の公立・公的病院が「再編・統合の議論を進めなさい」と名指しされ、報道発表されました（その後13に変更）。おそらく静岡県内では大きく報道されたことでしょう。そのことで多くの地域住民のみなさんが知ることになったと考えられます。ちなみに、全国では424の公立・公的病院が再編・統合の対象として公表されています。

こうした状況をふまえて実施された今回のアンケート結果から、地域医療と公立・公的病院に対する切実な思いとして受け止めることができると読み解くことができると考えています。

また、アンケート結果がきっかけとなり、「住民が地域医療を語る場」や「地域医療に関する情報発信」が増えることを期待しています。

## (3) 公立・公的病院の充実に向けて

「公立・公的病院は市民の税金によって誰もが安心して受診できるようになっています。この税金の使い方について、あなたの考え方で最も近いものを選んでください」という設問についてです。以下のような回答となっています。

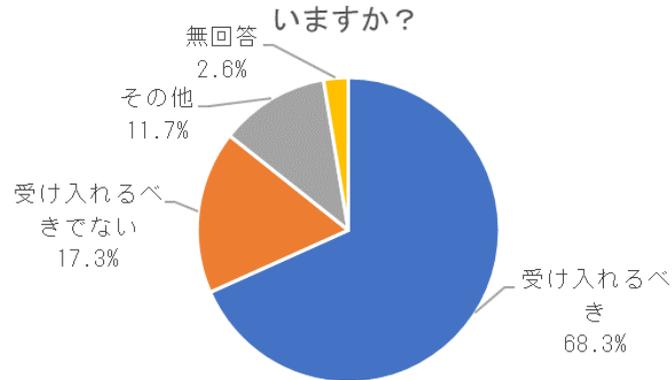
「公立・公的病院の充実のためにもっと税金を使うべき」  
45.2%（154）

「公立・公的病院の経営努力を強めて税金は節約すべき」  
38.2%（132）

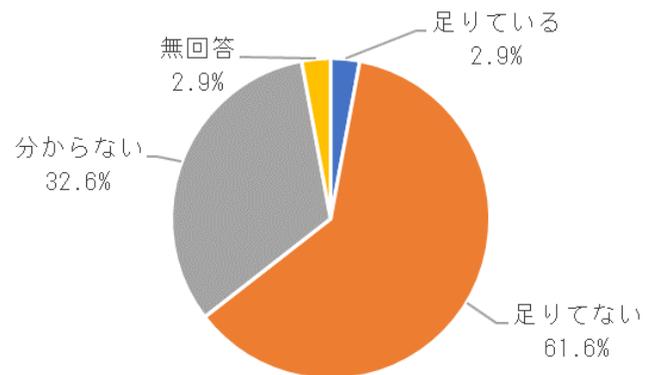
45%を超える多くの方が公立・公的病院の充実に税金を使うべきだと考えていることがわかります。また、経営努力を強めていくべきとの回答も38.2%となっています。

# コロナ感染者「受け入れるべき」68.3%、国対策「足りてない」61.6%

19. 新型コロナウイルス感染者が拡大し、感染症指定病院だけでは受け入れが足りず、市立湖西病院にも要請があった場合、受け入れるべきだと思いますか？



20. 新型コロナウイルス対策について、国の医療機関に対する支援は足りていると思いますか？



## 5. 新型コロナウイルス感染拡大に関して

### (1) 新型コロナウイルス感染者の受け入れについて

「新型コロナウイルス感染拡大に際し、市立湖西病院にも要請があった場合、受け入れるべきだと思いますか？」という設問についてです。以下の通りです。

「受け入れるべき」68.3%（233人）

「受け入れるべきでない」17.3%（59人）

「その他」11.7%（40人）などとなっています。

7割近くの多くの方は受け入れるべきだと考えていることがわかります。一方で、「受け入れるべきでない」という声も17.3%となっていることに目を向ける必要があります。

### (2) 新型コロナウイルス対策について

「新型コロナウイルス対策について、国の医療機関に対する支援は足りていると思いますか？」という設問では、

「足りている」2.9%（10人）

「足りていない」61.6%（210人）

「分からない」32.6%（111人）となっています。

6割を超える方々が国の医療機関に対する支援について、不足していると感じていることがわかります。一方で「足りている」が2.9%と低位です。コロナ禍において、医療機関に対する支援の不足が周知の事実となっていることがわかります。医療機関に対する支援策が急務であるといえます。

## 21. 意見・要望（108人から抜粋）

- 市立湖西病院の赤字経営について知ってはいるが総合病院が統合で遠方になるならば、総合病院のある市へ引っ越します。安心して住めない街になれば、人口の流出になり、市として税収減になるのでは。
- 湖西市の公立・中心病院として大切な病院です。医師、看護師、スタッフの皆さんをきちっと確保して働きやすい職場環境を作ってください。市民に支援を必要ならどんどん意見を、要望を投げかけ、中心病院になってください。
- 地域の医療の為に湖西病院は絶対必要です。（総合病院として）診療科によっては、充実していますが、全般的にも充実して欲しいです。現在は運転ができますが来春は免許返納するので運転ができなくなると、自宅から高齢で歩けなくなる。今は徒歩で行ける個人病院を選んでいますが。コーちゃんバスが充実するといいですね。
- 緊急でも対応できる施設の充実・意思の確保(特に外科) 救急車で浜松・豊橋の病院に行くことが多いです。市内で対応できるように望みます。
- 湖西病院は地域包括ケア病棟など、地域のニーズと経営改善の両方を頑張っており、引き続き市民にとって病気の時に頼れる存在であって欲しい。
- 政府はかかりつけ医制度にして総合病院への初回受診料上乘せ(増額)しているが地方においては初回から総合病院に受診したいという住民の気持ちも大切にしたい。持病を持っていない場合、かかりつけ医がいないので自宅近くの病院となると湖西病院となる地方住民の事も考えてもらいたい。
- いまだにコロナは怖い病気です。親友が他の市で看護師をやっていますが、コロナ受け入れ病院ではありませんが、自分が持ち込んで患者さんに感染させたらどうしようという不安を毎日持って慎重に仕事をしているそうです。彼女は心配で夜も眠れなかったりするそうです。誰がいつなってもおかしくないコロナです。危険と隣り合わせの医療従事者の方々にはもう少し手厚い配当があればと願います。素人の何も知らない意見ですみません。最後に、湖西病院は本当にいい病院です。鷺津の人たちにとってのさいごの砦といったところでしょうか。先生も看護師さんも優しい方ばかりです。



## おわりに

今回のアンケートから言えること、そして考えられることを中心に記しました。

このアンケート結果からは、地域住民のみなさんによる市立湖西病院への信頼と期待、そして地域医療をめぐる問題への関心の高さの表れが象徴的です。

公立・公的病院をめぐる情勢、なかでも再編・統合の議論をすすめるべき対象とされた医療機関に関しては、当該地域の住民の意向は重要なものといえます。本アンケートに回答された地域の方々の関心の高さ、そして市立湖西病院への信頼を損なうことのないようにする必要があります。

地域医療の提供体制の維持を願う声は 73.4%と高くなっています。また、アンケートの自由記入欄には 108 人の方から意見や要望が寄せられました。アンケート調査において、このように多くの方々が、わざわざ文章を書いて意見を表明したことに注目したいと思います。市立湖西病院への期待、そして地域医療についての願いが明らかとなりました。コロナ禍において、地域医療の充実を願う声は高まっています。

こうした地域医療に対する住民の関心の高さは、医療機関への要望・要求としてだけでなく、地域医療において住民ができること、住民が関わる責任の分担作業を進める必要があります。要望・要求にとどまらず、その内容が実現するように進めていきたいものです。アンケートは住民が考えていることの一部を映したに過ぎません。

アンケート結果をふまえて共有して終わり、では非常にもったいないように思います。アンケート結果を、地域の方々とともに共有することから始めてはいかがでしょうか？



津市立三重短期大学教授  
長友 薫 輝



アドバイザーへの協力  
ありがとうございました。

【問合せ先】

静岡自治労連

〒422-8062

静岡市駿河区榎川2丁目2-1

セキスイハイムビルディング7階

Phone 054-282-4060

Fax 054-282-4057

E-mail s-jichiroren@s-jichiroren.com